

元九州大学機能物質科学研究所所長 竹下 齊先生の 死を悼む

本田, 博司
九州大学機能物質科学研究所

<https://doi.org/10.15017/7895>

出版情報 : 九州大学機能物質科学研究所報告. 12 (2), pp. A1-A1, 1998-12-25. 九州大学機能物質科学研
究所

バージョン :

権利関係 :



(故) 竹下 齊 名誉教授

略 歴

昭和 7年 9月	福島県に生まれる
昭和26年 3月	福島県立双葉高等学校卒業
昭和30年 3月	東北大学理学部化学科卒業
昭和32年 3月	東北大学大学院理学研究科化学専攻修士課程修了（理学修士）
昭和35年 3月	同上博士課程修了（理学博士） 学位論文題名「ヒバ材精油成分の研究」
昭和35年 4月	日本学術振興会奨励研究生
昭和36年10月	カナダ国ウエスタンオンタリオ大学博士研究員
昭和38年10月	アメリカ合衆国ニューヨーク市立植物園博士研究員
昭和39年12月	東北大学理学部大学院研究生入学
昭和40年 4月	東北大学講師（理学部）
昭和41年 4月	東北大学助教授（理学部）
昭和47年 4月	九州大学教授（生産科学研究所）
昭和54年 4月	九州大学大学院指導教官（工学研究科）
昭和47年 4月	九州大学大学院指導教官（総合理工学研究科）
昭和62年 5月	九州大学教授（機能物質科学研究所）
昭和62年 7月	機能物質科学研究所長（併任）
平成 8年 3月	停年により退官
平成 8年 5月	九州大学名誉教授
平成10年10月	逝去 正四位勲三等旭日中綬章受章

元九州大学機能物質科学研究所所長 竹下 齊先生の死を悼む

九州大学機能物質科学研究所長

本田 博司

九州大学名誉教授 竹下 齊先生は年初来病氣ご療養中でしたが、本年10月1日、ご逝去なさいました。私共は先生の早すぎのご逝去をいたみ、深く哀悼の意を表します。

竹下先生は、昭和47年4月に本研究所の前身である生産科学研究所の教授として東北大学より赴任されて以来、平成8年3月に定年により退官されるまで、24年の永きにわたって有機化学の研究に専念されるとともに、生産科学研究所・機能物質科学研究所の発展に尽力されました。とくに機能物質科学研究所の初代所長として、研究所の方向付けと、新しい組織の充実のためになされたご貢献は忘れる事が出来ません。先生はまた、九州大学大学院工学研究科および総合理工学研究科の教授として教育にご尽力され、包容力ある指導をもって数多くの優秀な門下生を育てられました。この間の先生のご業績は、あわせて350編にも及ぶ数多くの論文、総説、著書としてまとめられ、国内外において極めて高く評価されております。

先生は有機光化学の開拓者のお一人でありました。今日 de Mayo-Takeshita 反応として知られる β -ジケトンとオレフィンの光付加反応は先生のカナダ留学時代の顕著な業績のひとつですが、このほか光酸素化反応等の分野において大きな足跡を残されました。先生の有機化学への貢献はきわめて多岐にわたり、天然有機化合物から非ベンゼン系芳香族化合物まで網羅され、また液晶や包接化合物等の機能性有機物質の創製にも力を注がれました。

先生はまた、日本化学会理事、および九州支部長として、また Chemistry Letters の編集委員として化学の発展と普及に貢献されました。またアジアにおける学術交流に尽力され、特に中国には客員教授や政府招聘教授として幾度も訪問されるとともに、数多くの留学生を受け入れられ、親身になって彼等の面倒をみられました。先生のこのような日常を知る者としては、先生がご退官後、東和大学東洋学研究所所長に就任されたということを伺い、まことに先生にふさわしい第二の人生と存じ上げた次第でありました。

九州大学時代の先生はきわめてご健康で、病気とはまったく無縁の方と存じ上げておりましただけに、このたびの先生の突然のご逝去は誠に残念でなりません。

本研究所は、先生のご業績を記念するとともに、ご貢献に感謝するために、本所報にご遺影を掲載し、心からご冥福をお祈り申し上げる次第であります。